



太鼓を親子で楽しみました。太鼓を体験し、楽しさを知る

11月15日(日)、トマム支所で自主創造プログラム『太鼓体験会 in トマム』が開催され、中央地区やトマム地区の親子が参加しました。

自主創造プログラムの発案者は、上トマム地区在住の長谷川和美さん。「和太鼓の演奏を見るのが大好きで、自分や子どもにも体験させたいと思っていました。今回体験会を開催できて嬉しいです。」と語ります。

今回、体験会の講師を務めたのは元青巖大鼓代表の影山孝さん。太鼓の叩き方やリズムなどを指導し、体験会の最後には、参加者で曲を合わせて演奏しました。



マスクがいつ不足するかわからない昨今 マスクを手作りして備蓄

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう昨今、マスクは日常生活に欠かせない必需品となりました。感染拡大によるマスクの不足を見込み、占冠村赤十字奉仕団は、マスクの手作りを行っています。

手作りされたマスクは、災害時などの有事の際に活用することを目的として備蓄されています。

8月から取組を開始し、手作りされたマスクは11月12日現在で約80枚に達しました。ご多忙中にも関わらず、マスクを作成してくださった団員の皆様、誠にありがとうございます。



紅葉を楽しむコースに満足

11月7日(土)、上トマム地区で『ふらの沿線スポーツフェスタ ノルディックウォーキング』が開催され、ふらの沿線居住者18名が参加しました。

今年はトマムの晩秋の紅葉と狩振岳を望むことができるコースを採用しました。参加者からは「トマム地区を一望し、楽しかった」、「毎年コースも変更されていて楽しみにしている」と感想をいただき、次回の開催にも期待が寄せられていました。上半身も使った全身運動を行うことができるノルディックウォーキングは、運動不足の解消に適しています。



読書とハロウィンを楽しむ

毎年10月27日～11月9日の2週間は読書週間とされ、全国的に読書活動を強化する期間。中央コミュニティプラザ図書室では、図書担当者がおススメする本を数冊セットにした『本の福袋』の貸出を実施し、読書活動を推進しました。

10月31日(土)、トマム支所で『ブックフェスティバル』が開催されました。図書専門委員や外国語指導助手による絵本の読み聞かせのほか、ハロウィンゲーム、衣装コンテストが実施され、参加者はハロウィンと読書活動を併せて楽しみました。



さらなる活躍に期待して 少年野球の選抜に村から3名

北海道学童軟式野球都市対抗戦の富良野支部代表選手を決定する選考会が実施され、村からは佐々木琉翔君、石坂佑都君、森田真央さんが選抜されました。

富良野支部選抜チームは、予選1次リーグ戦を見事突破し、10月31日(土)開催の決勝トーナメントに駒を進めましたが、善戦むなしく1回戦敗退という結果となりました。選抜された選手らは、「大会に出場できた事を誇りに持ち、野球を頑張りたい」、「トップレベルの試合でヒットを打てて良かったです」、「とても貴重な時間を過ごすことができました。」と話し、今後の活躍に期待が高まります。



第74回占冠中学校学校祭

11月7日(土)、占冠中学校で『第74回占冠中学校学校祭』が開催されました。例年9月に開催される学校祭ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていました。

各学年生徒による自由創作では、話題のテレビ番組やドラマ、アニメ映画などをコミカルな演技で表現。会場は笑いの渦に包まれました。

例年よりも練習期間が短かった今年の学校祭。生徒たちの見事な演技に、来場者から大きな拍手が送られました。

